

第8回 みたけ創生有識者会議 会議録

■日 時 令和元年7月17日（水）10時～11時50分

■場 所 コミンカホテル四季の家（津橋地内）

■出席者 尾石委員（(株)ケーブルテレビ可児）、黒田委員（東海化成工業(株)）、
小林委員（岐阜大学大学院）、齊藤委員（学校法人荻須学園）、
坂口委員（岐阜県可茂県事務所）、重政委員（御嵩町金融協会（(株)十六銀行））、
永谷委員（ながたに農園）
伊左次総務部長、長屋企画調整担当参事、山田企画課長、丹羽企画調整係長、
玉川企画調整係員、成瀬企画調整係員、板屋まちづくり推進係長、渡辺環境
モデル都市推進室副室長、佐橋農業振興係員

■施設見学

農林課佐橋主査主導で施設内見学を実施（～10時10分）

■会議進行（10時10分～11時50分）

○丹羽係長

では、会議本題に移ります。進行は企画課長からお願いします。

○山田課長

それではただいまからみたけ創生有識者会議を開催いたします。よろしくお願ひいたします。

開催にあたり、総務部長の伊左次よりごあいさつ申し上げます。

○伊左次部長

改めましておはようございます。

本日お集まりいただきました御嵩町の東部、上之郷地区の「コミンカホテル四季の家」については先ほどご説明したとおりでございます。荒廃していく農地の再生、また観光としての機能を目的として運営をしています。ぜひ機会がございましたら、使っていたくこともできますので、よろしくお願ひします。

さて、御嵩町は町長が4期目に入り、2大事業として、一つは庁舎、保育園等の建設に向けて動いているところでございます。現在は用地交渉を進め、おおよそ土地を譲っていただけるのかなというところまで来たかなという状況です。

もう一つは亜炭鉱の防災対策として、75億円を実質4年間で昇華する地下空洞を充填という形で埋めるという事業を進めています。国や県の管轄の国道、県道も一緒に進

めており、やっと全体の10%強が埋まる程度かというところでございます。

そんな2大事業を抱えつつも、このように地方創生に係る有識者会議ということで、皆さまに評価をしていただきながら進めさせていただきます。

本日は2名の方が新任ということで、お集まりいただいております。本年度は3年間の仕上げの年に入っていますのでKPIの評価等をよろしくお願ひしたいと思います。

この後は座長の選出となるかと思いますが、進行については座長の方でよろしくお願ひいたします。委員の皆様につきましては、前回、2時間では時間が非常に少ないですよというお話いただきましたが、皆さんもお忙しい中、短い時間ではありますが、中身の濃い議論をしていただきたいと思います。

どうぞよろしくお願ひいたします。

○山田課長

今回は第8回目の会議となりますが、今回から新しい任期となりまして、本来なら委嘱書を町長から直接お渡しするところでございますが、机上への交付とさせていただきますので、何卒ご了承ください。

また、新しく委員となられた方もいらっしゃいますので、皆様から簡単に所属と名前でご結構でございますので、自己紹介をお願いしたいと思います。

○各委員（各出席委員自己紹介）

○山田課長

ありがとうございました。

なお本日、名古屋芸術大学の水内委員は欠席でございます。

また4月の異動により、担当の企画課に異動がありましたので、職員を紹介させていただきます。

（企画課職員紹介）

また本日は事業実施に関わってくる部署から、まちづくり課の板屋、環境モデル都市推進室の渡辺、農林課の佐橋が出席しておりますので、よろしくお願ひいたします。

続きまして、資料確認させていただきます。

（資料確認）

それでは、会議の進行に先立ちまして、座長、副座長の選出をお願いいたします。

みたけ創生!!有識者会議設置要綱第4条第1項の規定に基づき、互選によることとな

っておりますが、どなたか行っていただける方、推薦していただける方はございませんでしょうか。

なければ事務局から推薦させていただいてよろしいでしょうか。

(異議なし→事務局にて座長に岐阜大学大学院小林委員、副座長に名古屋芸術大学水内委員を推薦)

よろしければ拍手を以てご承認いただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(委員の拍手→小林座長、水内副座長に決定)

議題の進行については座長にお願いしたいと思います。

事業説明及び質問に対する回答については担当部署からさせていただきたいと思えますので、よろしくお願いたします。

では小林座長様お願いたします。

○小林座長

それでは、引き続き座長を務めさせていただきます。よろしくお願いたします。今日は議題が多いということですので、要領良く進めていきたいと思えます。

それでは早速ですが、最初の議題の方に移らせていただきます。

(1) 平成 30 年度実施分の地方創生推進交付金事業に係る効果検証

(2) 令和元年度実施分の地方創生推進交付金事業に係る事業説明

○小林座長

議事次第の議題中（１）の平成 30 年度実施分の地方創生推進交付金事業に関わる効果検証表と（２）の令和元年度実施分の地方創生推進交付金事業に関わる事業説明ということでこちらの方を同時に進めていきたいと思えます。

事務局の方から最初説明があるかと思えますが、皆様方にご協力お願いしたいのは、資料 3 と資料 4 でございます。これから事務局の方からご説明いただきますが、資料 3 の中で右側にある「実現にあたっての自己評価及びコメント」において、過不足があったらご指摘いただきたいと思えます。併せて、次のページの資料 4 について、真ん中の列にあります、「得られた知識とノウハウ」についても、お気づきの点や付け加えたほうが良いことがありましたら、ぜひいただきたいと思えます。そこを念頭に事務局の説明を聴いていただき、コメントをいただけるよう、願います。

それではこの二つの件につきまして事務局の方からご説明をお願いできますでしょうか。

○事務局

各事業について報告と本年度事業概要の説明

○小林座長

では、進め方については、事業ごととさせていただきます。

資料 3 の方、みらいのみたけ人育成推進事業で、KPI の 1 から 4 まで 4 つあります。具体的に数字が上がっていて、また説明がありましたけども、何かここでお気づきの件とかコメント等いかがでしょうか。

では私の方から一つよろしいでしょうか。わいわい館の年間の売り上げについて、出前の売り上げも含んでいるということで良いでしょうか。大都市圏などに展覧してというものは含みますか。

○事務局

そこは含まれません。単独でわいわい館だけで売り上げた金額です。

○小林座長

わいわい館への入場者数が、昨年度理由があつて減ったということですが、売り上げが増えたということは、単純に単価が増えたということで良いでしょうか。

○事務局

1人当たりの単価は上がってきているという状況です。

○小林座長

何か理由があるというわけではないということですね。

○齊藤委員

実績値自体は平成29年度から平成30年度で減っているということですね。入場者数が減ったのに伴って、実績値が減ったが、1人当たり使っている金額は増えた。反比例している状態ですね。

○事務局

一つ見方を変えれば、固定客の方がついたという形だと考えています。

○小林座長

昨年度のように大きなイベントがないと人が減ってしまうということを逆手にとって、このような宣伝効果のあるところのところに売り込んでいくというような方法はないでしょうか。

○事務局

御嵩あかでんランド開催補助事業ですが、わいわい館のお客様への影響等も考えて、わいわい館へ直接お客様を招くということをあまり考えていなかったところしたが、施設としては使っていったほうがいいと考え、周知というところも含めまして、今年度につきましてはそのイベントの開催の一部をわいわい館の駐車場を使用させていただくというのが一つです。

本当は御嵩駅前にあります無料駐車場使いたいなと思いましたが、やはり名鉄を使われるお客様の声や利用者のことを考えますと、制限できないだろうというところも考慮し、今年度についてはわいわい館の駐車場を使用させていただいて、そちらで多様なお客様には飲食等活用していただきたいというところで動線を引かせていただくつもりです。

○小林座長

他いかがでしょうか。

○齊藤委員

平成 30 年度の事業実施計画の K P I の 1 の御嶽宿わいわい館の年間売上高のところのコメントが、P R 販売とか出店に関するものになっているので、純粋な御嶽宿わいわい館の年間売上高とは違うと思いますが。

○事務局

先ほどの発言について一部訂正をさせていただきます。

実際に首都圏での P R を行う際にわいわい館で扱っている商品を持ち込んでいるため、都市圏に出店して販売したものについても、売り上げの一部として入っています。申し訳ありません。特にクッキー等の長期で保存が効くものや、例えば栗すだれ、味噌などを持っていておりますので、こちらについては一部売り上げに含まれております。

出先の売上を伸ばすというよりは、そこで P R して御嵩町へお越しただいてわいわい館の来館者数を増やして売上を伸ばすという考え方でございます。

○小林座長

コメント中に入館者数と売り上げは必ずしも比例してないことがわかったということですが、まさに売り上げが伸びなくても知名度を上げるということでも、広報するという意味でもやっているということですよ。

○齊藤委員

それもそうですよね。

○重政委員

わいわい館の売上は飲食が中心でしょうか。

○事務局

中で食べられる軽食が売り上げの大半を占めております。

そばやそうめん提供など、軽食の売り上げが大半で、土産品よりは軽食の方がメインで出ているということです。

○重政委員

地元の方が結構来てくれるということでしょうか。

○事務局

使われ方というのがありますが、地元の方でも朝コーヒーを飲みに来られるお客さんもありますし、午後からは来訪者の方が休憩スポットとしてコーヒーを飲んでいかれたりおそばを食べたり、多様な使われ方をしております。

○小林座長

一番下の工業団地における居住従業員率ですが、こういう短期的には効果の出づらいものが上がってきたというのは、アピールするような施策があったということでしょうか。

○事務局

一番大きな影響としましては、平成 28 年度からずっと継続して実施しているキャリア教育ですが、これによって高校の先生の意識が変わってきたのかなというのが一つ大きなところです。

高校生が就職先等を決める際には、周りの大人から助言等の影響を受けているということもあります。

資料 3 にも書いておりますが、出向や期間従業員の方の雇用状況等はありませんが、工業団地内においても有効求人倍率もどんどん高くなっている状況で、人の確保が非常に大変だということもお伺いしていますので、地元の方は雇用等でご尽力いただいているところも一つであると考えています。

○小林座長

ありがとうございます。他いかがでしょうか。

それでは資料 3 については終了とし、次に資料 4、次のページについて進めさせていただきます。

地域課題解決型キャリア教育事業 効果検証

○小林座長

2番目の地域課題解決型キャリア教育事業について、皆さん先ほどの事務局の説明を思い出しながらコメントいただければと思います。工業団地の協力を得ながらやっていくということですが。

○坂口委員

参考程度ですが、こういった事業は県の教育委員会でも、今年度から地域の担い手育成事業ということで、具体的には地方内なり市町村内の高校において、町内の企業が出向いたりしながら、専門的なことを教えるということをして今年度から始めようとしており、御嵩町においては東濃実業高校において事業を実施することになり、そういった事業を見据えながら、今年度の課題、様子を窺いながら進められるということも大事かなと思います。

関連した事業となっておりますので、配慮をしたほうがいいと思います。

○小林座長

イベント等がリンクして、より効果的に回るようになればいいですね。

これについて、高校生に直接訴えかけることができたということですが、さらに高校の先生の教育にもなっているというところも、町が得られた知識、ノウハウとして記載されると良いと思います。

私も大学にいと高校の先生は意外に大学のことに対する理解が弱い場合があり、工学部があるというのはもちろん知っていますが、中に機械や電気など多岐にわたっているというのが、時々私も高校等に出向いてお話をさせていただくのですが、同じことがここでも起こっているのかなと思いました。有名な会社があっても、中で何をやっているか等、高校生は先生を頼って聞きますが、実は先生自身がお分かりになっていないところがあるので、そういうところで、先生の教育にもなっているところは大事かなと思います。

○尾石委員

地元の学校の先生に工業団地の会社訪問のツアーなどは企画されたりはあるんでしょうか。そうすると現場をご覧になった先生が、実際に大きな部品、重要なパーツを作っているなど、こういった会社があるのかとなり、製品を見ると結構身近に感じるところ出てくると思います。

○事務局

来週7月22日月曜日に、東海化成工業さんと大豊工業さんにご協力をいただき、事業の展開としまして2年生フォローアップで直接企業へお伺いをさせていただいて、その際に御嵩町議会の議員さん7名の方が一緒に同行されて、高校生の生の声や現場をしっかりと見ていただくということで、バスツアーの形でフォローアップの体制を実施するという運びになっております。

○黒田委員

確か5、6年前、今お話のように御嵩町の学校の教頭先生校長先生と教育委員会とかの方が、20～30人ほどお越しいただいたということがあったと思います。結構いろいろなお話をさせていただいた記憶があります。

○小林座長

いい刺激、情報交換になりますね。

○黒田委員

実際にその工場の中の生産しているところを見ていただくというのが一番だと思います。外から見ることでできない中のところですね。紙とか言葉だけでは通じないところですね。

○尾石委員

ゆくゆく保護者の方にも見学していただいたりすると広がって数字がもっと上がるのではないのでしょうか。

○小林座長

ケーブルテレビさんにも取材いただいて、電波に載せていただいても良いでしょうね。

地域課題解決型キャリア教育事業 効果あり

御嵩あかでんランド開催補助事業 効果検証

○小林座長

では先に進めさせていただきます。事業ナンバー3番であかでんランド開催補助事業ですね、こちらの方がいかがでしょうか。いろいろイベントのノウハウを得られたということが書かれておりますが。

事業費のどれくらいを町が負担しているような状態でしょうか。

○事務局

補助金額自体は昨年度80万円でその2分の1が国費、その残り2分の1が町の一般財源となっております。

○小林座長

イベントで物品の販売もされているということですよ。

○事務局

実際に補助金事業の会計と収入事業という形でそれ収入を得ている部分については会計を分けなければなりません。収入事業については、正直なところまだ片手ぐらいの収入しか得られていません。

そのため、通年で収入を得られないかというのを考えているところで、お土産品等につきまして、ガチャガチャを作ってそこに関わるお土産品のような小さなもの、アクセサリやキーホルダーみたいな形でもいいので、それを駅前やのわいわい館等に設置をさせていただくことを検討しています。明日ガチャガチャが納品される予定です。

中古品を使って、地元の板金屋さんをお願いして色の塗り直しのご協力を得て、デザインをつけて常設的にお金を手に入れられる仕組みを考えているところでございます。

○尾石委員

この項目の町が得られた知識の中で、支援方法、支援方法に関する知識を得たという記述がありますが、ここに具体的にどんなものを得られたかというのを2、3明記された方が良いと思います。

それに関連して、今年度の実施に際しての課題は、得た知識を今年度どうしていくかということも具体的に書かれると良いかと思います。

○小林座長

そうですね。ここで具体的に書くとそうですね取組の方も作りやすいですね。ぜひお願いいたします。

他よろしいでしょうか。また、最後にまとめてもう一度お聞きしたいと思いますので、何かありましたらその際をお願いいたします。

御嵩あかでんランド開催補助事業 効果あり

みたけのええもん雇用創出事業 効果検証

○小林座長

それでは先に進めさせていただきます。4番のみたけのええもん雇用創出事業ということで、今度は販売の話になってきますが、いろいろなところに出向いて販売されたということですがこちらの方がいかがでしょうか。

岐阜のふるさとまつりとか、東濃というような地域の中に一緒に加わっているものと御嵩が単独で行っているものがあるようですが、どちらの方がPR効果としてはあったでしょうか。

○事務局

みたけのええもんキャラバン in ラスパ御嵩では、およそ18万円の売り上げで、続きまして金山駅の駅前では4万円、東京都庁で行いましたみたけのええもんキャラバンでは20万円、それからふるさとまつりがありますが、この会場は大阪でございます。こちらが20万円です。

これを見ますと、愛知県の金山駅であったものが駅前の来場者2万人に対して4万円で、一方、地元の商店街でありますラスパ御嵩でやった時には、来場者400人に対して18万円の売り上げがあったというところで、意外と地域のショッピングモールなど近場でのPRが疎かになっていたということもあり、地域でもう少しPRをしていかなければいけないということがこの事業でもわかりましたので、この令和元年度につきましては、すでに一度6月に1回ラスパ御嵩で行いましたが、すでに売り上げが4日間で28万円になったということで、やはり地元積極的にPRしていくことが必要だというのが一つわかったことでございます。

○小林座長

売上とは別に、町のPRということも含めているので、ぜひ遠いところ東京や大阪でもやられるといいなと思います。

○事務局

観光PRも、みたけのええもんのPRと、それぞれということですね。

○黒田委員

観光のPRというところで、今東海化成工業では企業の森で町にお世話になっていますが、親会社の住友理工も企業の森で長野県安曇野の池田町というところでやっていま

す。

その池田町が年2回、住友理工の小牧に特産品の販売で来られています。これは定期的に行われています。

御嵩町でも東邦ガスさん等にお話をしたりして、物産展などええもんだけでなくて御嵩町の特産、池田町ならお米とか、野菜とかいろいろ毎年楽しみにやっています。そういったことを思いました。

○尾石委員

新たな販路としてリターンもあるような、可能性がありそうですね。

○齊藤委員

それこそ企業に回ってしまうというのはどうなのでしょう。

○事務局

雇用創出事業もそうですが、行政主導型に少なくなっているところがあるので、生産者組織、事業者がもっと売っていきたいよという方向に持っていけないといけないと考えています。

その意識改革がこの事業の根底にあるのではとと思っているところがありますので、事業者さんの自己満足で終わらないように、もっと積極的に販路拡大してもらえるようにプッシュしていきたいと考えています。

○齊藤委員

ただ、販路を拡大していくのはなかなか難しいと思いますので、例えば町が企業さんにお話をして、このタイミングだったら出せますよという幾つかの候補があって、そこに便乗する形で最初どうですかという形だったら行きやすいのではないのでしょうか。

○尾石委員

年間スケジュールのような形でどうでしょうか。

例えば弊社の場合は大きな催し物の計画があったりするので、都合の良い事業者さんがそこに売りに行こうとか、計画が立てられます。

○小林座長

販売機会を一覧にしておくというのは良いかもしれないですね。

○尾石委員

そこで無理のない範囲で皆さん積極的に出店するという形になると良いと思います。

幼稚園の年間行事とかバザーとかきつとありますよね。

○坂口委員

可茂総合庁舎でも物産展等をさせていただいて、来庁者含め、職員自体も知ってもらうという機会で行っておりますので、ぜひご活用いただければと思います。

みたけのええもん雇用創出事業 効果あり

みんなのみたけファンディング活用事業 効果検証

○小林座長

それでは先に進ませていただきます。5番目でファンディング活用事業ですね。

これについては実際には3件、実際に動き出したということで総額が94万ということですが、こちらについて何かお気づきの点等ありますでしょうか。個人的には成功事例ですから、ぜひ続けていきたいなと思います。

○永谷委員

令和元年度事業実施に際しての課題のところ、具体的起案検討者への手厚い支援方法とありますが、具体的にどういうことやっていくか、アイデアはあるのでしょうか。

○事務局

インターネット上に載せる際にはファンディング運営サイトの方で審査、相談とありますが、初めて挑戦される方に関しては、何がキーワードになっていて、どういう指摘をされているかについては全部オンラインで相談の返事が返ってくることになるので、その時点では何がキーになっているかというところが掴みきれないパターンがあります。

昨年度3件成立ということで、どういうところがポイントになってくるかというのは既に得ていますので、誰が主役になっていて、その主役が訴えかけるミソはどこなのか、というところの関連づけ等を具体的に文章で見させてもらっています。その上で、ここを手厚くしたほうがいいのか、実際に対面してその上でお返しすることをしていきます。それを踏まえて、実際にサイトへ挑戦するとかっていうパターンに持ってもらうようにしました。

そうでないと、踏み出すときに、自分1人だけではとても勇気がいると思いますので、そこについては横に寄り添って、挑戦してみますかということでお話をさせていただいたのは先ほど3件の中の2件ありました。

常に相談できる体制が必要ですが、それは事務局内でも伝えていかなければいけないと思います。

○永谷委員

私も実際クラウドファンディングを考えていて、やろうと思ったときに事業者さんはこの辺にはいらっしやらないので、聞けません。

そういうところで実際どうしたらいいのかという細かいケアがこういうふうを受けられると、安心して取り組めるという気がするので、いいサポートだと思います。

また、プラスして経済的な面のサポートについても他の自治体ではあるみたいで、例

例えば瀬戸市の場合だと、クラウドファンディングを立ち上げる際に、情報を公開して告知していく際に、ウェブサイトやチラシを作ると、それに対して補助が出るという仕組みがあるようです。金額も制限はありますが、全体の費用の2分の1まで、上限15万という形で、具体的に募集されていました。

みんなのみたけファンディングとあるので、御嵩町でクラウドファンディングに挑戦するという意義がそこで発生してくるのかなという気がします。他から呼び込めるとうか。

○小林座長

こういう成功体験をされた方がまた新しく説明する場、紹介する場があってもいいかもしれないですね。

○事務局

今年度、またクラウドファンディングセミナーを開催させていただきます。皆様にお配りさせていただきますチラシの中に、クラウドファンディングセミナーチラシがあります。やっと先週吊り上がってきたばかりのものですが、差し込みさせていただきます。

この中の成功体験ということで第2回目の10月の31日の時点で昨年度挑戦された方の町内での挑戦者の声を取り上げるということで、プログラムに組み込んでおります。

○小林座長

永谷委員もぜひクラウドファンディングチャレンジしていただいて。

○永谷委員

農繁期に入って、忙しくなってできていないので、落ち着いて来たらまた取り組みたいと思っているので、みなさんにご協力いただければ助かります。

○小林座長

ぜひ成功体験を報告していただきたいと思います。

みんなのみたけファンディング活用事業 効果あり

外部人材招聘事業 効果検証

○小林座長

それでは先に進めさせていただきます。次は 6 番の事業で外部の人材招聘事業ということで、読み聞かせの取り組みですね。

読み聞かせをしていただく方を招聘したというような話ですが、これについてはいかがでしょうか。

○齊藤委員

実際に高校生はどのくらい参加しているのでしょうか。

○事務局

この時に参加した高校生は 1 人でした。周知の仕方がちょっと甘かったかなというところで、直接高校自体に伺ってでPRした方が早かったと反省しています。

今回はまだ相談中ではありますが、高校の保育専攻の方たちに、興味あるかどうかを直接先生から、話をしてもらうようにしました。

生徒さん直接訴えかけても、部活動などを優先になってくるので、先生からこういうのがあるよと行って見ないかという形でお誘いいただけるような形で話を進めさせていただこうとしています。

○齊藤委員

例えば高校の授業に、放課後などにこの外部人材の方が行って、実際にそこで本の読み聞かせのポイント等話してもらって、実際に読み聞かせを行う場に高校生も行って、一緒に何かやるような形はできないのでしょうか。

○事務局

プログラムとしまして、先に保育園の方にお伺いする前に、高校生にレクチャーをした上で、一緒にその保育園へ伺って高校生が読み聞かせをした時に、講評してもらえるような形で横についていただいて、そのあとでフィードバックがちゃんとできる状態をきちんと作っていくのが必要だと思っております。

最初から現場で見せるよりも、高校生に見せて教えた後で、現場で実習として取り組んでもらって、その内容を評価してもらうというサイクルをつくっていくと、プログラムとして使いやすくなるかと考えております。

その点について高校の授業の関係もありますので、実施可能かについても調整をとっていただいているところでございます。

○尾石委員

高校生の呼びかけで保育系の出席希望者の方ももちろんですが、例えば放送部や演劇部など、表現したいという方も対象にしても良いのではないのでしょうか。

○事務局

中心的に呼びかけをさせていただくのが保育専攻の方というだけで、もちろんほかにも生徒さんがいらっしゃいますし、校長先生が実際に人材育成協議会のメンバーに入っておりますので、そこで直接呼びかけをしていただけるようお願いをしているところです。

外部人材招聘事業 効果あり

ITプログラミング人材育成事業 効果検証

○小林座長

続きまして、7番のITプログラム人材育成事業についてはいかがでしょうか。

いろいろアプリを作って町内の宣伝ということで、具体的に良いものができてきたというところですが。

町の得た知識として、参加した人たちに将来のキャリアパスというか、実際の企業さんを見せることによって、就職活動の支援になるようなことはないですか。

○事務局

IT企業の求人自体が通常のハローワークの求人情報にあまり掲載されません。そのため、IT企業さんが開く勉強会や企業訪問して直接目をつけてもらって、ヘッドハンティングに近いような形で就職していくのが大半だという情報を得ましたので、IT企業さんとの関係性を一つでも作っていくと、人材がそこに行ったり来たり、もしくはリモートワーク、地元に残って仕事ができるというパターンも多々見えてきましたので、これについては、通常の求人のノウハウだけでは収まらなかったということで、我々にとって非常に大きな収穫だったと思っています。

○小林座長

ぜひそれをここにも記載していただければ良いと思います。

○重政委員

全部で4つ書いてありますが、実際今どれくらいアプリはダウンロードされていますか。

○事務局

ここにあるのは1例です。まだ他にもありますが、管理者権限で確認しないと現時点ではわかりません。申し訳ありません。

ただ、評価が一定数ダウンロードされてないと星マークがつきません。確認しましたが、評価が入っているものもあります。コメントがいくつかアップルストアの方に入っており、そちらの方も第三者の方からの評価だと捉えております。

ITプログラミング人材育成事業 効果あり

環境教育事業 効果検証

○小林座長

それでは次に進めさせていただきます。事業の8ですが、環境教育事業ということで、北海道の下川町との交流プロジェクトについてですが、こちらの方がいかがでしょう。

町内の子供たちが参加してということですが。

○永谷委員

子供たちにとってすごくいい取り組みになっていると思いますが、プラスアルファも考えられるのではとも思います。

子供たちとそれに関わる大人たちも、交流して下川町からノウハウを御嵩町に持って来て、何かができないかとか、例えば今年度は子供たちが下川町に行くだけになっていると思いますが、逆に向こうから人材を招聘して、例えば御嵩町だったらこういうことができるんじゃないかということを下川町のプロフェッショナルの方に子供たちとかあと水土里隊の人達と一緒に交流する場を設けるとか、御嵩町で何ができるかというのをより突っ込んで考えていけたら、もっと広がりがある事業になるのかと思いました。

○小林座長

そういったことは何かありますか。

○事務局

この交流体験プロジェクトは、かつては相互交流の形で行われていました。

町の方から中学校2年生の生徒さんと民間ボランティアの水土里隊という組織がありますが、この方を下川町へ派遣する、その代わりに下川町の方から小学生を御嵩町に招待して相互交流を行っていくっていうのは、平成27年度から3年間続いておりましたが、この平成30年度から下川町さんのご都合で来られないという事態が生じました。

ただ、こういう状態でも、御嵩町としましては、下川町へ伺って体験させていただくというのは変わりません。

下川町さんの森林体験は小中高一般の方にプログラムが分かれており、そのプログラムを実践していくのを見ていると、御嵩町と比べると現段階では下川町さんの方が進んでいるような状況の中で、町のスタンスとしては学びに行く、それを持ち帰ってどう御嵩町で活かしていけるかというのを考えていきたいと思っており、相互交流ができれば一番いい最終形にはなるかと思いますが、今のご意見については参考にさせていただき、今後検討させていただきたいと思っております。

○小林座長

今お話があった、下川町で学んで御嵩町でそれを反映するということまではいっていませんが、そのモチベーションができたっていうところは記載できるのではないのでしょうか。

○事務局

その一環としまして、環境フェアが2月の後半にあります、学んできたことをどう自分たちがとらえているかというのを発表する場というのもあとで設けております。

今行っていますのが事後検証としまして、平成27年から今年度、新しい子どもたちが行きますが、平成30年度までの生徒さんが行かれた内容の検証を行います。一体行って何を学んできたか、それを御嵩町でどう生かしていきたいという部分、効果があったのかという検証も含めて、今進めている状況でございます。

○小林座長

他にいかがでしょうか。

環境教育事業 効果あり

宿場まち人材育成事業 効果検証

○小林座長

それでは、事業として最後になりますが、9番の宿場町の人材育成ということで空き家の活用ということですが、取り組みはどうでしょうか。実際に改修の方法などを学んだりということですが。

まだこの取り組みで移住者が来るというところまではいってないでしょうか。

○事務局

移住ではありませんが、移転という形でお店が来ていただいたと、先ほどクラウドファンディングで成功しました御嵩っていいよね。が美濃加茂市でお店をされていた方が御嶽宿でお店をしたいということを意思を持って話をしている中で、古民家再生の件と一緒にやりませんかと声をかけたものです。

また、この事業は、このコミンカホテルの指定管理を受けている一般社団法人てらすへの委託により実施しています。管理運営のほか、人と人の繋がりをそこで担ってもらっているというのが大きなポイントになってくると思われます。

○小林座長

はい、ありがとうございます。ほかにいかがでしょうか。

宿場まち人材育成事業 効果あり

○小林座長

それでは全体を通して何か言い忘れたこと等あればお願いします。

○永谷委員

各事業で KPI の目標設定があると思いますが、目標設定が 10 年単位とか 20 年単位のような長いスパンでの目標設定はありますか。

○事務局

地方創生の大黒柱となる総合戦略は 5 年のものでこれ繰り返すという形で、国の設定も、県、市町村もいずれも 5 年というのが基本となっております。長期構想というところまでは至っておりません。

KPI 自体の設定が適正なのかという見直しを常にかけていかなければいけないというところと、長期スパンについてはそれぞれの市町村もしくは都道府県の方で設定しております、長期ビジョンもしくは総合計画というものがありますので、こちらとのリンクとして、最終的には吸収されていくということになりますので、総合戦略は個別計画だととらえていただけると助かります。

○永谷委員

御嵩町の長いスパンの基本的な計画があって、支流というか、付随する政策ということですね。わかりました。

○小林座長

他によろしいでしょうか。

それでは、議事次第の(1)(2)は終了させていただきまして、次に進めさせていただきますしたいと思います。

(3) 平成 28 年度実施分の地方創生加速化交付金事業に係る経過検証

(3) の平成 28 年度実施分の地方創生加速化交付金事業に係る計画検証についてということで、どちらかという報告に近い話だと思いますが、事務局からお願いできますでしょうか。

(事務局より説明)

事務局からの説明を踏まえて、ご質問やお気づきの点等ありますでしょうか。

(意見なし)

よろしいでしょうか。

(都合により齊藤委員退席)

(4) みたけ創生!!総合戦略(全体)の検証について

○小林座長

それではその次の議題に移らせていただきます。(4)になります。みたけ創生!!総合戦略(全体)の検証についてということで、事務局からよろしくお願いします。

(事務局より説明)

○小林座長

重要な点をご説明いただきましたが、お気づきの点等ございますでしょうか。地域防災リーダーは大体成人の方々がやっているということによろしいですか。

○事務局

高校生の方も入っており、高校生の防災リーダー育成にも尽力しています。

2年ほど前から高校生の防災アカデミーを実施しており、毎年10名ずつ程増えていますが、昨年度から八百津高校などよその地域の高校生も取り組んでおり、広域化して取り組みが進んでいると考えています。

○小林座長

何年か前に可児川が氾濫した時がありましたが、ああいったものを見て、多くの方がリーダーになってくれると良いですね。

○坂口委員

本社機能の移転というのはやはり難しいのでしょうか。実績が0件ですが。

○事務局

なかなか難しいです。

町内の工業団地がすべて埋まっている状態で、新たに開発という話になると、地元合意等、手順を踏まなければいけないと考えると、この5年の中でというところはちょっと難しかったと考えています。

○小林座長

他いかがでしょうか。

○尾石委員

簡単な質問ですが、このKPIの管理一覧は、町民の方に公開されるのでしょうか。

○事務局

すべて公開になりますし、総合戦略そのものも必ずホームページ等で公開しなければいけないとなっております。

○尾石委員

もし今後このまま公開されるということでしたら、町民の方がぱっと見て、たくさん数字がある中で、うまくいってるっているものを◎にするとか、うまくいってないものを△×にするとか、そういったものがあると町民の方も通知表のような感じで見やすいのではないのでしょうか。

○事務局

5年スパンで最終目標が設定されていますので、今年度末の評価を以て全体で5年間を通してどうだったかという形で、通年で見られるような形で出てくると見やすいかもしれません。

○小林座長

そうですね。他いかがでしょうか。

(5) みたけ創生!!総合戦略の一部改訂

○小林座長

それでは、最後に議題の(5)、みたけ創生!!総合戦略の一部改訂について、こちらのご説明を事務局からお願いします。

○事務局 (事務局から説明)

○小林座長

ありがとうございます。

国からの事業として追加になるということですが、この事業は何年間のものでしたでしょうか。

○事務局

この地域再生計画というものが今年度から6年でございます。

通常は最大でも5年ですが、これにつきましては特別の事業としまして6年ということで国の方で認められています。

○重政委員

東京圏から移住者を獲得するのは大変かと思います。前年度6人移住者がいらっしゃるといふ報告ですが、この方たちは東京圏からでしょうか。

○事務局

東京圏ではありませんでした。いろいろな地方からいらっしゃっていますが、東京圏からではありませんでした。

ここまで国の施策が東京一極集中を解消しようという一つの柱ですので、そこはちょっと我々も二の足を踏んでいるところです。

○小林座長

場所が東京圏の指定というのは厳しいですね。

永谷委員のように意識を持って移住してきたという方が増えればいいのですが、永谷委員のお知り合い等はいかがでしょうか。

○永谷委員

東日本の震災直後の時が最盛期だったかと思います。だんだんそこからその自然回帰の文化が落ち着いてきました。

最近ながたに農園でやっている農業体験プログラム少し下火になってきていて集めるのが大変になってきています。農業という視点でいくと結構難しいので、これからはIT等の方向の方がひよっとしたらやりやすいのではという気がします。

都会の人から見ると非日常でなかなかできることではないと思われがちですが、確かにレジャー的な感覚で来られる方はいらっしゃいますが、じっくり移住して自分が農業をという感じではだんだんなくなっているという雰囲気は少しあります。

ただ、御嵩町も大分魅力が増してきていると思いますので、他の自治体よりも良いのではないかと思います。

○小林座長

御嵩の魅力をどんどん、いろんな方に発信していただかないと、ということですね。東京圏から移住者確保は難しい部分もあるかと思いますが、国からの事業ということもありますので、これで頑張っていただきたいと思います。

みたけ創生!!総合戦略の一部改訂 承認

○小林座長

他いかがでしょうか。

それではこれで議題の方はすべてとなりますが、全体通して言いそびれたこと等何かございますでしょうか。

では事務局の方に戻させていただきます。よろしくお願いいたします。

○山田課長

座長進行ありがとうございました。それでは閉会にあたりまして、企画調整担当参事の長屋よりご挨拶申し上げます。

○長屋参事

本日はお忙しい中、また、限られた時間ではございますが、多様なご意見をいただきまして、ありがとうございました。我々が普段気づかないようなご指摘やご意見、ご提案もいただきまして、本当にありがとうございました。

本日いただきましたご意見等は、今年度の事業に活かして、KPIの達成に向けて事業を進めてまいりますので、引き続きご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。本日はまことにありがとうございました。

○山田課長

最後に今後の有識者会議についてご連絡いたします。

本年度は地方創生推進交付金事業が3年計画の3年目であり、また地方創生総合戦略についても計画期間が今年度までとなっており、第2期の総合戦略の策定に向けて、準備を進めております。年内には策定を完了させるという予定でございます。

つきましては、第2期総合戦略の策定にかかるアンケート等の取りまとめが完了した時期の9月から10月頃に次回の有識者会議を開催させていただきたいと思っております。

ここで第2期総合戦略の方向性について皆様に照会し、その後、年明けまでに2度ほど、今年度は都合4回開催させていただき、第二期総合戦略についてご協議をいただきたいと存じます。

例年と比べ回数が多く大変恐縮でございますが、何卒ご協力をよろしくお願いいたします。それでは会議を閉会させていただきます。ありがとうございました。